

16. 自然の宿 くすの木

千葉県 和田町

●学校施設がもつ「地域コミュニティの核」としての機能が、跡地利用に引き継がれている事例

概要

用途： 体験型宿泊施設
廃校理由： 過疎化に伴う児童数の減少
廃校年： 平成7年
旧学校名： 上三原小学校

建物

構造： 木造1階建て
建築面積： 860㎡
延床面積： 838㎡

財源

整備： 県補助金（事業名：たくましい房総農業推進事業）
運営維持管理： 町から補助金と施設利用料金

運営主体

名称： くすの木王国
形態： 地区住民による運営

運営状況

主な利用者： 子ども会等の各種団体、家族単位
利用者数： 12,800人／年

調査担当者のコメント

●建物自体は宿泊施設が改築され、体育館が講堂として残っているのみでほとんどリニューアルされており、学校の面影はほとんどない。しかしながら、地区住民が主導で跡地利用を積極的に推進することにより、廃校後においても良好な地域コミュニティが維持されている。

管理者から一言

●この施設（自然の宿「くすの木」）の建設される前の上三原小学校は、和田町に4校あった小学校の中では一番古い歴史があり、地域の人たちも「誇り」にしていました。児童数の減少のため閉校の話が出た時、住民の総意で検討委員会を立ち上げ、跡地の活用を行政と話し合った結果作られた施設であり、現在も当時の検討委員会を前身とする「くすの木王国」が施設の運営をしています。増改築のため、講堂以外は学校の面影をほとんど残していませんが、同窓生は勿論のこと、地域に関係のない来訪者も、明治6年の創立以来の全卒業生の名前が記された壁板や、歴代の校長の写真等に郷愁の念を感じ取るはずです。地域の活性化と都会の人との交流の場として、今後も親しまれる存在であって欲しいと願っています。

場所・連絡先

住所： 千葉県安房郡和田町上三原1244-1
アクセス： JR内房線南三原駅よりバス20分
Tel/Fax： 0470-47-5522／0470-47-5560
電子メール： info@town.wada.chiba.jp
HP： <http://www.town.wada.chiba.jp/kankou/sisetu/kusunoki-index.html>





○新たに整備された建物



○宿泊室の様子

○浴室の様子



○地域住民が運営に参画し、様々な「ふるさと体験」のプログラムを提供
(パンフレットより抜粋)



○食堂の様子

